

# 北 区役所 だより

自然・活力・安らぎにあふれるまち 一住みたくなるまち 北区

令和3年(2021年) **6月6日**号

毎月第1・3日曜日発行  
Vol.340

編集・発行 新潟市北区役所地域総務課

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 ☎025-387-1000(代表) ☎025-387-1020  
ホームページ <http://www.city.niigata.lg.jp/kita/> 電子メール [chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp](mailto:chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp)

北区 人口 72,960人(+14) 男 35,673人(0) 女 37,287人(+14) 世帯数 29,651世帯(+112) ※令和3年4月末現在 カッコ内は前月比 住民基本台帳から



## 種 目

- ①小学生の部(性別不問)  
1人当たり約2kmで5区間
  - ②中学生の部(性別不問)  
1人当たり約3kmで5区間
  - ③男女混合の部(男性1名, 女性2名以上)  
1人当たり約3kmで5区間
  - ④一般女子の部(女性のみ)  
1人当たり約3kmで5区間
  - ⑤一般男子の部(女性1名まで出場可)  
1人当たり約3kmで5区間
- (注)③~⑤は中学生2名まで登録可能

■チーム編成 1チーム5名(6名まで登録可能)

■表 彰 チーム表彰、個人表彰、参加賞あり

※新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより、安全な開催が困難であると主催者が判断した場合は中止します。

## 参加費(1チーム)

- 小・中学生 4,000円
- 高 校 生 5,000円
- 一 般 7,000円

## 申し込み

7月7日(水)までに  
ウェブサイト「RUNNET」から  
※参加は県内在住者に限る

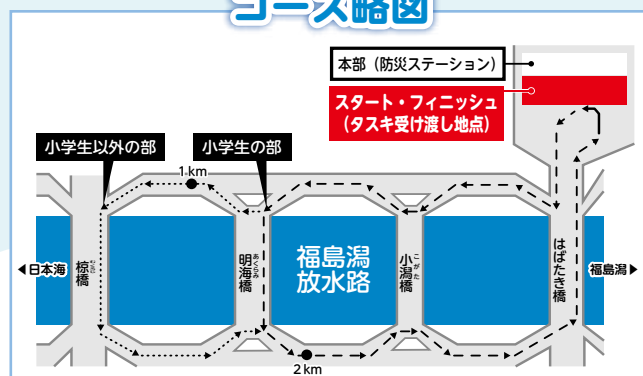
## エントリーに関する問い合わせ

(平日午前9時~午後5時)  
同大会エントリー事務局(☎0794-70-8200)

## その他の問い合わせ

新潟市北区スポーツ協会(産業振興課内☎025-387-1195)

## コース略図



詳しくはこちら

## 市場いこてば商品券販売

葛塚市、松浜市の両方で使えるプレミアム商品券を販売します。

- 販売日時 6月25日(金) 葛塚市内 古川写真館前  
6月27日(日) 松浜市内 松浜印刷所前  
(両日とも午前9時~正午)
- 販売価格 1冊3,000円(500円券7枚つづり)
- 販売部数 350冊(各市場175冊)
- 利用期間 6月25日(金) ~ 9月27日(日)
- 問い合わせ 産業振興課(☎025-387-1356)



※画像は令和2年度のもので、令和3年度はデザインが異なります

## 葛塚市の歴史

約260年の長い歴史のある市場で、毎月1・5・10・15・20・25日に開催されています。1754(宝暦4)年、葛塚は新発田藩領から幕府領となりましたが、当時の葛塚には定期市がなく、遠く新発田や水原まで買い物に行かなければなりません。庄屋の遠藤七郎左衛門宗寿らは、葛塚を公認の交易の場とするため、幕府に開市の請願を行いました。そして、1761(宝暦11)年10月8日、幕府から正式に市を開くことを認められました。これが葛塚市の起こりです。1957(昭和32)年4月20日から現在の常盤町通りにて行われています。

## 松浜市場の歴史

140年を超えて地元で愛され続けています。今のように陸上交通の発達していなかった昔は、人と物資の輸送はもっぱら水上交通で行われていました。松浜は江戸時代から、新潟から葛塚、また新発田への重要な河川交通の中継地点として、人の交流や物流の拠点として大いににぎわいました。明治に入り、松浜発展の恩人、村山得次郎が新潟の湊元次郎の協力を得て、阿賀野川の浅洲を埋め立て(明治6~7年)住宅地を造成しました。それが新屋敷(現在の松浜本町4)です。当時戸長であった村山得次郎は、明治9年に市日の設定について県に申請を行い、現在のような六斎市(2・7の日)が開かれるようになりました。